

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	兵庫医療大学 看護学研究科 看護学専攻													
実施方法	① 通学（ 昼間 ・ 土日 ）													
指定講座番号	2	8	2	5	5	—	1	8	1	0	0	1	—	4
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間					過去一 年の講 座実績	入講者数(累積) (4人)					修了者数 (9人)		
年月日	平成 33年 3月 31日まで													
訓練期間	24ヶ月						総訓練時間					720時間		
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル							学位取得(修士(看護学))							
②①に係る資格・試験等の実施機関名称							兵庫医療大学							
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等							共通科目、専門科目、研究指導科目を履修し、学位論文審査会にて合格したものに学位を与える。							
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況							看護師、保健師、助産師としてより専門知識技術を修得し、看護実践能力を強化し、高度専門職業人、研究者、教育者、管理者として活躍する。							
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)							時間				使用教材名			
別紙カリキュラム参照														
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等							看護師もしくは保健師もしくは助産師として従事した経験があることが望ましい。							
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準							<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主体的に学び、目標に向かって邁進できる</li> <li>2. 看護専門職者として高度看護実践・看護学の発展に貢献する意欲を有する</li> <li>3. 志望する専門分野に必要な基礎的知識と技術を有する</li> <li>4. 国際的視野に立ち、柔軟な発想ならびに論理的思考で課題を探求する姿勢を有する</li> <li>5. 倫理的な感受性と想像力をもって行動できる</li> </ol>							
③その他														

看護学研究科の教育科目と単位

科目区分	授業科目	単位数	時間数	配当年次	標準履修科目・単位			
					看護学基礎研究領域	看護学課題研究・高度実践領域		
研究科共通科目	医療統計学特論	1	15	1 後	2 単位以上選択	2 単位以上選択		
	医療倫理学特論	1	15	1 前				
	先進医療支援特論	1	15	1 前				
看護学共通科目	A	看護教育論	2	30	1 前	4 単位以上選択	8 単位以上選択 *看護研究演習を除く	
		看護倫理	2	30	1 前			
		看護理論	2	30	1 前			
		看護管理論	2	30	1 後			
		看護政策論	2	30	1 後			
		コンサルテーション論	2	30	1 後			
		看護研究	2	30	1 前			
		看護研究演習	1	30	1 前			
	B	アドバンスト・フィジカルアセスメント	2	30	1 前			○
		臨床薬理学・薬物治療特論	2	30	1 後			○
疾病・病態特論		2	30	1 前	○			
看護学専門科目	基礎看護学	基礎看護学特論	2	30	1 前	○		
		基礎看護学援助特論	2	30	1 後	○		
		基礎看護学演習 I	2	60	1 通	○		
		基礎看護学演習 II	2	60	1 通	○		
		基礎看護学演習 III	2	60	1 通	○		
		基礎看護学特別研究	10	300	2 通	○		
		看護教育学特論	2	30	1 前	○		
		看護教育学援助特論	2	30	1 後	○		
		看護教育学演習 I	2	60	1 通	○		
		看護教育学演習 II	2	60	1 通	○		
		看護教育学演習 III	2	60	1 通	○		
		看護教育学特別研究	10	300	2 通	○		
		療養支援看護学	急性病態治療学	2	30	1 前		○
			急性看護学特論	2	30	1 前	○	○
	急性看護学援助特論 I		2	30	1 前	○		
	急性看護学援助特論 II		2	30	1 後	○	○	
	急性看護学援助特論 III		2	30	1 通		○	
	急性看護学演習 I A		2	60	1 通	○		
	急性看護学演習 II A		2	60	1 通	○		
	急性看護学演習 III A		2	60	1 通	○		
	急性看護学演習 I B		2	60	1 通		○	
	急性看護学演習 II B		2	60	1 通		○	
	急性看護学演習 III B		2	60	2 前		○	
	急性看護学実習 I		2	90	1 後		○	
	急性看護学実習 II		2	90	2 通		○	
	急性看護学実習 III		2	90	2 通		○	
	急性看護学実習 IV		4	180	2 通		○	
	急性看護学特別研究		10	300	2 通	○		
	急性看護学課題研究		2	60	2 通		○	
	がん病態治療学		2	30	1 前		○	
	がん看護学特論		2	30	1 前	○	○	
	がん看護学援助特論 I		2	30	1 後	○	○	
	がん看護学援助特論 II		2	30	1 後	○	○	
	がん看護学援助特論 III		2	30	2 前		○	
	がん看護学演習 I A		2	60	1 前	○		
	がん看護学演習 II A		2	60	1 後	○		
	がん看護学演習 I B		2	60	1 前		○	
	がん看護学演習 II B		2	60	1 後		○	
	がん看護学演習 III		2	60	1 後	○		
	がん看護学実習 I		2	90	1 後		○	
	がん看護学実習 II		2	90	2 通		○	
	がん看護学実習 III		2	90	2 通		○	
がん看護学実習 IV	2	90	2 通		○			
がん看護学実習 V	2	90	2 通		○			
がん看護学特別研究	10	300	2 通	○				
がん看護学課題研究	2	60	2 通		○			
慢性看護学特論	2	30	1 前	○				
慢性看護学援助特論	2	30	1 後	○				
慢性看護学演習 I	2	60	1 通	○				
慢性看護学演習 II	2	60	1 通	○				
慢性看護学演習 III	2	60	1 通	○				
慢性看護学特別研究	10	300	2 通	○				

看護 専門 科目	精神看護学特論	精神看護学特論	2	30	1前	○		
		精神看護学援助特論	2	30	1後	○		
		精神看護学演習Ⅰ	2	60	1通	○		
		精神看護学演習Ⅱ	2	60	1通	○		
		精神看護学演習Ⅲ	2	60	1通	○		
		精神看護学特別研究	10	300	2通	○		
		家族支援看護学	小児看護学特論	2	30	1前	○	
	小児看護学援助特論		2	30	1後	○		
	小児看護学演習Ⅰ		2	60	1通	○		
	小児看護学演習Ⅱ		2	60	1通	○		
	小児看護学演習Ⅲ		2	60	1通	○		
	小児看護学特別研究		10	300	2通	○		
	母子保健医療学		2	30	1前		○	
	母性看護学特論		2	30	1前	○	○	
	母性看護学援助特論Ⅰ		2	30	1後	○	○	
	母性看護学援助特論Ⅱ		2	30	2前		○	
	母性看護学演習ⅠA		2	60	1通	○		
	母性看護学演習ⅡA		2	60	1通	○		
	母性看護学演習ⅢA		2	60	1通	○		
	母性看護学演習ⅠB		2	60	1通		○	
	母性看護学演習ⅡB		2	60	1通		○	
	母性看護学演習ⅢB		2	60	1通		○	
	母性看護学実習Ⅰ		2	90	1後		○	
	母性看護学実習Ⅱ		2	90	2通		○	
	母性看護学実習Ⅲ		2	90	2通		○	
	母性看護学実習Ⅳ		4	180	2通		○	
	母性看護学特別研究		10	300	2通	○		
	母性看護学課題研究		2	60	2通		○	
	助産学特論		助産学特論	2	30	1前	○	
		助産学援助特論	2	30	1後	○		
		助産学演習Ⅰ	2	60	1通	○		
		助産学演習Ⅱ	2	60	1通	○		
		助産学演習Ⅲ	2	60	1通	○		
		助産学特別研究	10	300	2通	○		
		生活支援看護学	老年看護学特論	2	30	1前	○	
			老年看護学援助特論	2	30	1後	○	
			老年看護学演習Ⅰ	2	60	1通	○	
			老年看護学演習Ⅱ	2	60	1通	○	
	老年看護学演習Ⅲ		2	60	1通	○		
	老年看護学特別研究		10	300	2通	○		
	地域看護学特論		2	30	1前	○		
	地域看護学援助特論		2	30	1後	○		
	地域看護学演習Ⅰ		2	60	1通	○		
	地域看護学演習Ⅱ		2	60	1通	○		
	地域看護学演習Ⅲ		2	60	1通	○		
地域看護学特別研究	10		300	2通	○			
在宅療養治療学	2		30	1前		○		
在宅看護学特論Ⅰ	2		30	1前	○	○		
在宅看護学特論Ⅱ	2		30	1後		○		
在宅看護学援助特論Ⅰ	2		30	1前	○	○		
在宅看護学援助特論Ⅱ	2		30	1前		○		
在宅看護学演習ⅠA	2		60	1通	○			
在宅看護学演習ⅡA	2		60	1通	○			
在宅看護学演習ⅠB	2		60	1通		○		
在宅看護学演習ⅡB	2		60	1通		○		
在宅看護学演習Ⅲ	2		60	1通	○			
在宅看護学実習Ⅰ	2		90	2通		○		
在宅看護学実習Ⅱ	2	90	2通		○			
在宅看護学実習Ⅲ	2	90	2通		○			
在宅看護学実習Ⅳ	2	90	2通		○			
在宅看護学実習Ⅴ	2	90	2通		○			
在宅看護学特別研究	10	300	2通	○				
在宅看護学課題研究	2	60	2通		○			

# 一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 昨年度内の受講修了者数	9	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	9	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	9	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	9	人			

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	6	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	4	人	②A: 就業者計	5人
	2 非正社員、派遣社員	1	人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 非就業	1	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	5人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ	2	人		
	6 その他の効果	2	人		
	7 特に効果はない	1	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる		人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1人
	2 希望の職種・業界で就職できる	1	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	1	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	1	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	6人
	2 おおむね満足	3	人		
	3 どちらとも言えない	2	人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	各科目試験で60点以上を合格と判定する。この科目試験は、筆記試験のほかレポート、プレゼンテーション、臨地実習での記録とパフォーマンスを指す。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

2年以上在学し30単位以上の取得と、必要な研究指導を受けたうえで修士論文または課題研究論文について審査と口頭試験に合格すること。

# 一般教育訓練明示書

<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>	
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	指導教授との個人面談およびゼミ形式でのグループ指導により行う。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	在職中の大学院生については特に実施していない。無職である場合は、大学院生の進路希望に沿った就職先の紹介を行う。
<b>8. その他の事項</b>	
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人兵庫医科大学 (代表者名: 理事長 新家 莊平)
住所及び連絡先	兵庫県西宮市武庫川町1番1号 TEL 0798-45-6111
施設名称及び施設長名	兵庫医療大学 (施設長: 学長 馬場 明道)
住所及び連絡先	兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6 TEL 078-304-3000
給付制度担当部署・者	神戸キャンパス 事務部 教育支援課 (担当者: 岡田成弘)
連絡先	TEL 078-304-3014
一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) <span style="float: right;">1,113,990 円</span>
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) <span style="float: right;">100,000 円</span>
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) <span style="float: right;">1,013,990 円</span>
③ 両方可能	(うち、必須教材費 <span style="float: right;">13,990 円</span> )
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) <span style="float: right;">18,380 円</span>
	① 副読本代(税込額) <span style="float: right;">18,380 円</span>
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) <span style="float: right;">円</span>
	③ 施設維持費(税込額) <span style="float: right;">円</span>
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) <span style="float: right;">円</span>
	3. 総額 (1+2) (税込額) <span style="float: right;">1,132,370 円</span>

[ 特記事項 ]